東千葉メディカルセンターにおけるアクシデント報告件数

当センターでは、インシデント・アクシデント事例を収集し、情報共有と改善策を見出すために活用しています。また医療の透明性を高め、患者および地域の皆様に信頼頂けるよう「東千葉メディカルセンターにおける医療事故の公表基準」に基づき情報を公開しています。

令和８年度（令和８年４月～令和８年９月）

	レベル 3b	レベル 4a	レベル 4b	レベル 5	合計
薬剤に関すること	0	0	0	0	0
輸血に関すること	0	0	0	0	0
治療・処置に関すること	10	1	1	0	12
医療機器等に関すること	0	0	0	0	0
ドレーン・チューブに関すること	0	0	0	0	0
検査に関すること	3	0	0	0	3
療養上の世話に関すること	4	0	0	1	5
その他	0	0	0	0	0
合計	17	1	1	1	20

インシデント・アクシデント影響レベル

レベル	内容
レベル 0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが，患者には実施されなかった
レベル 1	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル 2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化，バイタルサインの軽度変化，安全確認のための検査などの必要性は生じた)
レベル 3a	簡単な処置や治療を要した(消毒，湿布，皮膚の縫合，鎮痛剤の投与など)
レベル 3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化，人工呼吸器の装着，手術，入院日数の延長，外来患者の入院，骨折など)
レベル 4a	永続的な傷害や後遺症が残ったが，有意な機能傷害や美容上の問題は伴わない
レベル 4b	永続的な傷害や後遺症が残り，有意な機能傷害や美容上の問題を伴う
レベル 5	死亡(原疾患の自然経過によるものをのぞく)